



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 森六ホールディングス株式会社

コード番号 4249 URL <http://www.moriroku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 栗田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理 兼 IR担当 (氏名) 下迫 俊司 TEL 03 (3403) 6102

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	127,996	△10.8	3,558	△46.3	3,604	△47.9	2,070	△61.6
2019年3月期第3四半期	143,550	7.0	6,623	16.4	6,914	17.7	5,389	34.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,672百万円 (△32.3%) 2019年3月期第3四半期 2,468百万円 (△66.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	125.06	—
2019年3月期第3四半期	325.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	126,864	67,488	52.2
2019年3月期	128,063	67,440	51.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 66,272百万円 2019年3月期 66,298百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	47.00	—	47.00	94.00
2020年3月期	—	51.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	51.00	102.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	172,000	△9.3	5,300	△39.0	5,200	△41.1	3,200	△47.6	193.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日 (2020年2月13日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	16,960,000株	2019年3月期	16,960,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	391,585株	2019年3月期	414,885株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	16,558,587株	2019年3月期3Q	16,545,218株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における自動車業界は、米中貿易摩擦の長期化による中国市場の落ち込み、インドをはじめとする新興国市場の減速に加えて、米国市場も力強さを欠いた結果、世界的に需要が伸び悩みました。国内においても、10月の消費増税や相次ぐ自然災害により、2019年の新車販売台数が前年を下回りました。

なお、化学品の販売価格形成の基準となるナフサ価格については前年同期に比べて下落し、為替相場についても前年同期比で円高に推移しました。

こうした事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、生産台数の減少や製品構成の変化等により、連結売上高は127,996百万円（前年同期比10.8%減）となりました。利益面では、減収の影響に加え、米国工場の収益正常化の遅れ等により、営業利益は3,558百万円（同46.3%減）、経常利益は3,604百万円（同47.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,070百万円（同61.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ①樹脂加工製品事業

樹脂加工製品事業においては、中国で主要顧客の生産台数が増加したものの、その他の地域で減産となり、国内の新機種発売延期等も影響した結果、前年同期比で減収となりました。利益面では、最適生産体制の見直しや原価低減に努めましたが、減収の影響に加えて、中国における製品構成の変化、米国工場の収益正常化の遅れと高付加価値車種の減産等により、前年同期比で減益となりました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は79,956百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益は2,898百万円（同48.2%減）となりました。

#### ②ケミカル事業

ケミカル事業においては、アジア地域での自動車生産台数減少と当社取引先の現地メーカーとの競合の影響を受け、樹脂原料・添加剤や自動車部品業界向け原材料の売上が減少しました。一方、ものづくり分野では、機能性フィルムの製造販売を行う四国化工(株)において、食品・医療関係とも受注が堅調に推移しました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は48,039百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は875百万円（同12.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は59,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,439百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が4,074百万円、現金及び預金が3,042百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は67,382百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,240百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定が3,704百万円、建物及び構築物(純額)が1,315百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は126,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,198百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は47,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ625百万円減少しました。これは主に、短期借入金が2,873百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が2,396百万円、1年内返済予定の長期借入金が980百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は11,439百万円となり、前連結会計年度末に比べ620百万円減少しました。これは主に長期借入金が1,009百万円減少したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は59,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,246百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は67,488百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績や最近の市場動向等を勘案し、2020年3月期の連結業績予想を修正しました。詳細は、本日(2020年2月13日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,566	15,523
受取手形及び売掛金	33,475	29,401
有価証券	404	-
商品及び製品	4,820	4,661
仕掛品	1,358	2,002
原材料及び貯蔵品	3,789	4,148
その他	3,533	3,758
貸倒引当金	△26	△14
流動資産合計	65,921	59,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,159	17,475
機械装置及び運搬具（純額）	10,031	9,566
工具、器具及び備品（純額）	5,239	5,516
土地	5,379	5,493
リース資産（純額）	197	152
建設仮勘定	5,538	9,242
有形固定資産合計	42,545	47,446
無形固定資産		
無形固定資産	990	927
投資その他の資産		
投資有価証券	16,447	17,182
長期貸付金	74	75
退職給付に係る資産	-	4
繰延税金資産	1,342	971
その他	769	823
貸倒引当金	△28	△50
投資その他の資産合計	18,605	19,008
固定資産合計	62,141	67,382
資産合計	128,063	126,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,440	21,044
電子記録債務	3,068	2,726
短期借入金	9,527	12,400
1年内返済予定の長期借入金	3,617	2,637
リース債務	79	161
未払法人税等	851	507
その他	7,977	8,459
流動負債合計	48,561	47,936
固定負債		
長期借入金	5,976	4,967
リース債務	198	353
繰延税金負債	4,772	4,932
退職給付に係る負債	409	364
資産除去債務	168	168
その他	534	654
固定負債合計	12,060	11,439
負債合計	60,622	59,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	4,737	4,779
利益剰余金	52,459	52,852
自己株式	△253	△239
株主資本合計	58,584	59,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,945	7,515
為替換算調整勘定	360	△660
退職給付に係る調整累計額	94	81
在外子会社のその他退職後給付調整額	314	302
その他の包括利益累計額合計	7,714	7,239
非支配株主持分	1,142	1,216
純資産合計	67,440	67,488
負債純資産合計	128,063	126,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	143,550	127,996
売上原価	124,916	112,617
売上総利益	18,634	15,379
販売費及び一般管理費	12,011	11,821
営業利益	6,623	3,558
営業外収益		
受取利息	97	106
受取配当金	373	381
持分法による投資利益	2	-
為替差益	175	-
その他	143	133
営業外収益合計	792	622
営業外費用		
支払利息	436	375
持分法による投資損失	-	43
為替差損	-	97
その他	64	59
営業外費用合計	500	575
経常利益	6,914	3,604
特別利益		
固定資産売却益	28	82
投資有価証券売却益	926	188
補助金収入	12	89
関係会社清算益	-	99
特別利益合計	968	459
特別損失		
固定資産売却損	1	16
固定資産除却損	-	29
投資有価証券売却損	-	3
特別損失合計	1	49
税金等調整前四半期純利益	7,881	4,014
法人税等	2,435	1,866
四半期純利益	5,445	2,147
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,389	2,070



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,445	2,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,464	569
為替換算調整勘定	△498	△1,020
退職給付に係る調整額	△19	△12
在外子会社のその他退職後給付調整額	6	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△0
その他の包括利益合計	△2,976	△475
四半期包括利益	2,468	1,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,415	1,595
非支配株主に係る四半期包括利益	52	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用する在外連結子会社は、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日。以下、「IFRS第16号」という。)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。これに伴い、借手のリース取引は原則すべてのリースについて資産及び負債の認識をしております。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の有形固定資産が275百万円、流動負債のリース債務が111百万円、固定負債のリース債務が208百万円それぞれ増加し、利益剰余金が49百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,170	51,380	143,550	-	143,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	275	2,691	2,966	△2,966	-
計	92,445	54,071	146,517	△2,966	143,550
セグメント利益	5,591	1,001	6,593	29	6,623

(注) 1. セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去941百万円及び各報告セグメントに帰属しない当社の費用△911百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,956	48,039	127,996	-	127,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	175	2,460	2,636	△2,636	-
計	80,132	50,499	130,632	△2,636	127,996
セグメント利益	2,898	875	3,774	△216	3,558

(注) 1. セグメント利益の調整額△216百万円には、セグメント間取引消去819百万円及び各報告セグメントに帰属しない当社の費用△1,035百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。